

西國立志編原名自助論

第六編 藝業ヲ勉修スル人チ論ズ

彌爾尼士ノ詩ニ曰、遠處ニ大ニ光輝ヲ發スルモノアリ、縱ヒ故始コレヲ捕得ザルトモ、再又コレヲ試ベシ、蓋シ善徳ハ、藝事ヲ爭賽スル中ニアリテ、利欲ニ汲々タル中ニハアラザルナリ、

「一、天才アリト雖ニ必ズ勉強ノ力ヲ要ス  
凡ソ藝業ヲ修テ、極妙極善ニ至モノハ、特ニ許多ノ辛苦勉強。由テ得ラルヽトナリ、丹青ノ妙手、雕像ノ名工、一筆一刀ト雖ニ空ク施サズ、コレニヨリテ、次第ニ精神ヲ倍ス、或ハ才思コモ由ミケレニ、畢竟學習ノ功ヲ積ルモノナリ、禮諾爾圖」

曰「誰コテモ繪事ニ長セント欲スルモノハソノ心ヲ悉クコ  
 ニ注ギ、晨起ヨリ夜臥ニ至ルマテ、絶テ他念アルベカラズ、  
 コレ繪畫ノミニアラズ、他ノ藝業ニ於テモ亦然リ、又一藝ニ  
 卓絶セント志スモノハ、學コチ欲スル時ト、欲セザル時トニ  
 論セズ、朝ニ晝ニ夜ニ常ニ工夫チ用ベシ、遊戲セズシテ偏ニ  
 辛苦學習スベシ」とイヘリ、蓋シ才ハ、天ヨリ受レドモ、コレチ  
 成全スルハ、自脩ハ功ニ由フナレバ、天才ナ情ズシテ、人力チ  
 盡ズベキナリ、

## (二) 藤ナ好モノハ利ノ爲ニスルニ非ズ

人ノ卓絶ノ名ナ成ハ、偶然天幸ニ非ズシテ、專一勉強ナルニ  
 由ナリ、或ハ藝業コ由チ財貨ヲ得ルト雖ニ、元來財貨ヲ得シ

ト志シテ、藝術ヲ學ブニハ非ズ、抑モ清約廉儉ニシテ心ナ用  
ヒ精チ勞スルト豈ニ金錢チ欲スルモノハ、能ク堪ルトヨロ  
ナランヤコレタソノ業ヲ修ル中ニ滋味アリ、悅樂アルニ  
由テコレナ好ミテ自ラソノ心ニ慊シ足リトスルナリ、シカレ  
バ、悅樂ハ勉強ニ因テ得ルトヨロハ最善ハ賞典ナリ、コレニ  
從フトコロノ財貨ハ、特ニ偶然ノ物ニ過サルノミ、或人彌開  
爾。安日洛ニ向テ、一ノ畫工利ヲ求ル爲ニ、畫ヲ辛苦スルトチ  
語ケレバ、安日洛答ヘテ、予思フニ、カクノ如ク、弊心ニ富チ欲  
スルモノハ、ソノ心ニ足リトセサル中ハ、貧人タルナ免カレ  
ズ。」言シトナリ。

(三) 安日洛清廉淡薄ニシテ雕像學ヲ勉ル事

安日洛ハ、禮諾爾圖ニ似テ、アタ勉強ノ重ズベキトナ信ズル  
 人ナリ、ソノ言ロ、何ナル物ニテモ、手善ク心ニ應ズル。キム  
 大理石ニ模出シ。一體ノ如ニナラムル。トサ得ベシト云。リ  
 ツノ人ト爲フ、清廉ニシテ、自奉ズル。儉素ナリ、故ニツソ盲  
 ニ、予ガ同時ノ人ヨリ、多光陰ヲ覓メ出シ、多學習スル。チ得  
 ルハ、儉省ニ慣フニ賴リト云。リ、サレハ、ソハ事業ヲ作シ、ナガ  
 ラニ少許ノ麺包ヲ喫シ、少許ノ酒ヲ飲ム。ハミ中夜睡醒レバ、  
 急ニ起テ蠟燭ヲ頭帽ニ附着シ、ソハ光ニ由リ、鑿チ以テ勞作  
 ス時トシテハ甚ダ疲レ、衣ヲ脱スルニ及ハズシテ、ソノマ  
 倒レ臥シ、覺ハマタソノ業ヲ做セシトナリ、安日洛好シ刻ム  
 トコロノ創意ノ像アリ、老人小車ニ乘リ、沙漏ヲ持チ、其上ニ

予猶ホ方ニ學習ニ從事ス」ト云ル語ナ銘スルモノナリコレ等ニテソノ平生、志ノ存スルトコロヲ觀ルベシ、

〔四〕秩裏一畫ニ七八年ヲ費ス事

秩裏ハ伊太利有名ノ畫家、マタ強勉ニシテ倦ザル人ナリ、ソノ世ニ著稱セラル、ビートロマルナレノ畫ハ八年ニシテ成リ、〔ラストサツバア〕救主最後ノ畫ハ七年ニシテ成ルモノナリ、日耳曼帝查爾斯五世ニ書ナ贈リテ「我今陛下ニハラストサツバア」ノ圖ナ送ル、實ニ七年ノ間、毎日工夫ナ用タルモノナリト云リ、名手ニ稱セラル、人ハ多少ノ勉力ヲ積ミ、多年ノ恒久ニ耐テ、大題ノ畫〔乃チ作リ難キノ畫〕ヲ作ルニ由テ、ソハ心手益々慣熱シテ、後來易チ覺ヘ、遂ニ成ツチ得ルナリ、然ニ他人ハ、タゞ

ヲノ後來畫チ作フ、易シテ速ナルタ見テ、ソノ從前ノ難シテ、  
 且久シキ忍ル境界アリシコト、思モノハ、少シ、サレバ勿擣茶ノ  
 篤士、嘗テ秩襄ニ一ノ半身像チ畫カシコチ需メシガ、十日ニ  
 シテ成レ、貧乏ノ金ヲ報ンヤト問ケレハ、五十セクインズ、我邦  
 ノ金ト答フ、ワツカ十日ノ工夫ヲ費ノミニテ、永ルヨコロ甚  
 ダ多シ一言ハ、安日洛、我が十日ニシテ半身像チ畫クフハ、三  
 十年ノ間學テ、シカル後得タルモノナリ、ト答シトナリ、加兒  
 格的ハ、ソノ有名ソロケフター地ノ畫チ作ル前ニ、四十度畫稿  
 ナ改シトナリ、加兒格的ハ、英國ノ古勞、德法國有名一稱セラ  
 ル、ホー、丹青一時ニ妙ナリ、今女王維多利亞賞スルニ奈的  
 ノ爵ナ以テセリ、

(五) 少年ノ聲譽ハ恃ニ足ズ

藝業ヲ修ル人ハ、タトヒ天才衆ニ超ユト雖ニ繼續ニテ勉強スルニ非レハ、成就スル地位ニ至ルト能ハズ、是故ニ工藝ノ人、少年ノ時聲名ヲ得ルト雖ニ、勉強ノ功ヲ以テ、コレニ繼ガズシテ、後來ソノ名ヲ失モノ少カラズ、エクス斯的ノ事ヲ引テコレヲ證スペシ、空斯的僅ニ七歳ノ時、ソノ姉ノ小兒搖籃ノ中ニ睡ル顔容ノ愛スヘキヲ見テ、急ニ走テ紙ヲ求メ、赤黒ノ墨ヲ以テ、コレヲ畫キタリ、コレヨリ畫ヲ作コチ好ミ、夙ニ聲譽ヲ一時ニ得タリ、惜カナ天才卓絶スルノミニシテ、學習ヲ積ズ、艱難ニ勝ズ、試驗ヲ經サルガ故ニ、永クソノ聲譽ヲ保テ能ズシテ、遂ニ大家ト爲コチ得サリキ、

(二〇) 伴克斯小童ナ勸願セシ事

彫像工伴克斯ハ、ソノ記號ニ(勉強及ヒ忍耐)ノ字チ用シガ、實ニ自ラコレヲ行ヒ、又コレヲ人ニ勧タリ、少年ノ此技ナ好モノ、來テ教誨ナ求ルモノアレバ、懇切ニコレヲ待遇セリ、嘗テ一小童、ソノ家ニ來リ、戸ナ遮シク敲ケリ、伴克斯ノ婢女怒リテコレヲ呵叱シ、逐ヒ還サントスルチ、伴克斯打聽シテ、自ラ出テコレヲ見レバ、一小童、手ニ畫圖ナ持シテ立テリ、伴克斯何等ノ事ノ爲ニ、予家ニ來ルヤト問バ、答テ曰、予願ハ君ノ周旋ニ由テ、ゼ、アカデミイ學館ノニ入りテ、畫圖ナ學ハント欲スト、伴克斯マツソノ畫ナ見セラレヨトテ、コレヲ觀サテ云ケルハ、汝年幼<sup>イトダチ</sup>シ、アカデミイニ往ナ急ガル、トナカレ、歸ツテア

ボルロノ神像チ今一段善ク畫クコト試ミ。一月ノ後、マタ來テ予ニ示セト、コノ童子大塗勉強シテ、一月ノ後、畫ヲ持シテ來ルニ、前ヨリハ善リケレバ、伴克斯マス。コレヲ勸勵シテ歸ラシメタリ、一七日後、マタ來テ畫ヲ示スニ、更ニ進歩ノ功見エケレバ、伴克斯汝悅バレヨ、後來大名チ成フ必セリト、許シケルガ、果テソノ言龜兆ノ中ルガ如ク、コノ童子ハ、即今世有名ノ畫家麥爾列第ナリケリ。

(七) 古勞德羅倫萬象ヲ以テ師トナセシ事

古勞德羅倫ハ、勉強ニシテ倦テナキニ由テ、山水遠景ヲ畫キ大名ヲ顯ハセル人ナリ、法國羅倫ニ住スル貧家ノ子ニシテ、始ハ作餅匠ノ徒弟トナリシガ、後シノ兄雕木工ナルガ故ニ、

ソノ業ヲ學ヒ、一ノ賈客以太利ニ往ト欲スルモノ、古勞徳  
 ノ畫ヲ好ム、知リ携往ント勸ケレバ、コレニ從ヒ、羅馬ニ至リ、  
 遂ニ有名ナル畫工亞哥士知諾答、西ノ僕トナリテ、畫ヲ學ビ、  
 次第ニ長進ス、後以太利法蘭西日耳曼ニ歷遊シ、時ニ處々ニ  
 留リ、畫ヲ作リテ、路銀ヲ得タリ、羅馬ニ歸ルニ及テ、聲名藉フ、  
 甚ク、四方ヨリ來テ畫ヲ請セ、ノ常ニ已ズ、古勞徳ハ森羅萬象  
 ナ以テ師トナシ、勉テソノ眞形ヲ寫シテ疲ルトナシ、故ニ平  
 日ノ習ヒシテ、房屋田土樹木花葉ノ類ヲ精密ニ描寫シ、多ク  
 光陰ヲ費セリ、時トシテハ曉ヨリ夜ニ及マデ、蒼天ヲ仰望シ、  
 行雲變幻ノ状態、天色明暗ハ増減、熱觀セリ、ガクノ如ク常  
 ノ工夫ヲ盡シタレバ、ソノ成就スルト遅カリシガ、後ニ及シ、

ソノ眼目ノ高キ、手藝ノ絶タルト、山水畫工ノ第一流ト、世ニ  
稱許セラル、ニ至レリ。

(八) 篤兒涅爾薄值ノ藝術輕ンセザル事

篤兒涅爾マタ山水遠景ヲ畫ガク名工ニシテ、英國ノ古勞德

ト稱セラル、人ナリシガ、勉強勞苦シテソノ藝ヲ修ケリ、ソ

ノ父ハ倫敦ノ剃頭工ナリシ故、童子ノ時、ソノ業ヲ爲ケリ、一

日過客アリテ、ソノ摸寫スル畫ヲ見テ、大ニ感シ、ソノ父ニ勧

テ、ソノ好ニ従ヒ、畫ヲ學シム、篤氏貧困ノ中アリテ、許多ノ

艱難ニ遭タル由、コレガ爲ニ屈沮セズシテ、恒ニ工夫ヲ畫圖

ニ用ヒ、卑下ノ事ヲ嫌ズ、心ヲ盡シテ、コレヲ爲リサレハ喜ンブ

他人ニ傭レ、他人ノ畫上コ、インヤアンインキナ以テ、天色ヲ繪キ、

一夜、半クラヴァン銀錢ヒカルノ名チ得及ビ晩餐ランチチ供セラルカクシテ活計  
 ナ爲ナガラソノ藝ニ慣熟スルコチ求メ又道中記年曆及ビ  
 廉價ノ書ノ圖畫チ作リソノ後ヨリ篤氏ミツカ自ラ「我昔低價ハ畫チ繪  
 キ十分ニ力チ盡セシガヨハ事我ニ於テ最上ハ習練トナレ  
 リ」ト云リ篤氏酬報ハ薄セバト雖凡決シテ筆ニ任セテ塗抹  
 セズ必ズ心チ用テソノ能スルトコロチ盡ス一畫タモトモ  
 後日ノ作ハ必ズ前日ノ作ヨリ進境アラシメソコチ期セリ  
 蓋シ人カクノ如ナレバソノ爲トコロ必ズ多ク多ケレバ必  
 ス熟ス故ニ篤氏ノ進境旭日ノ光ノ如ク畫才益々生シ畫境  
 日ニ廣ク遂ニ名工トナリニ至リ篤氏ノ畫必シモ稱譽チ要  
 セズソノ英國ニ遣トコロノ集畫閣即チ篤氏ノモニユメント功紀

碑ニシテ、永ク大名ヲ後世ニ傳タリ。

(九) 百爾理爾善者ノ相ト爲テ羅馬ニ遊ナ

羅馬ハ技藝ノ淵藪ナレバ、藝術諸生ニニ遊ブヲ企慕也

ザルモノナシ、但ソノ旅程ノ費用少カラズ、學生ハ多々貧乏也

ノナルガ故ニソノ志ナ遂ルモノ少シ、然ドモ志望深カラバ  
遂ニハ羅馬ニ至ルヲ得ベキナリ、法國ノ畫工百爾理爾コ

ノエナルナルロカティイロ馬チニ遊ント、熱心ニ思シカ、後ニ善者ノ  
羅馬ニ遊ント、欲スルモノ、相者ト爲フナ得テ、ソハ宿志未  
達シコニテ學習ノ功ヲ積ミ、遂ニ盛名ヲ發スルコ至リ

(十) 加洛ノ事

法國ノ畫工雕像工加洛、童子ノ時、羅馬ニ往ト欲セシカ、其父

ロレサ許セリ。故、竊ニ家ヲ出テ、以太利ニ赴ケリ。固ニ思  
 路銀ヲ持ズシテ出コナレバ、忽大ニ困難シツヒコ。コブキ  
 ス乞丐アテ廻ノ夥伴ニ入り、種々ノ危険ヲ冒シ、僅コ福  
 横察ニ達ケリ。ソノ間目ニ見心ニ貯タル詭形殊狀モノタ、後  
 来驚ベキ雕刻ニ發出セリ。羅馬ニ在テ、ホリキ及ビトマスシニ  
 親熱シ、後來名工タルベント二人ニ許サル、一日加洛父ノ執  
 ニ撞着シ、逼テ家ニ歸シメラル。加洛ナホモ安ジテ家ニ居テ  
 能ズ、再文逃レ出シガ、株林ニ於テ、其兄ニ捉ラル。後コソノ父  
 禁止スルコノ益ナキナ知テ、許シテ羅馬ニ遊ハシム。コニ  
 於テ、加洛數年ノ間、羅馬ニ留リ、良師ニ就テ、書及ビ雕像ヲ學  
 ビ、法國ニ歸ントスル路ニシテ、福横察ノ鉢商コスセ第二ニ

勵ラニ、留學シテ、數年ヲ過ス、コニスモ死シケレバ、ソノ郷土ナ  
ル南西ニ歸リ、ソノ叢業ニ由テ、聲名ヲ得、貨財ヲ得タリ、幾何  
ミ、ナク、法國内亂作リ、南西園レ、災禍ヲ受ク、利式流加洛ニ  
人戰爭ノ圖ヲ雕コナ望ケレバ、加洛ソノ郷里ノ災ヲ、表揚ス  
ルヲサ欲セザル故、コレヲ辭シケレバ、利式流怒、テコレヲ獄  
ニ投ゼリ、シカルニ昔時羅馬コ往ク途中惠ヲ受タルヤアシイ  
ス注上ノノ一班、マタ獄中ニ在ケリ、サテ路易第十三世、加洛  
見ニ拘繫セラル、テ聞テコレヲ赦セルノミナラズ、何ナリト  
モ求トヨロチ許スベシト云リ、加洛因テソノハ舊友ナリシギ  
許レゾフチ請ケレバ、王立ニシノ奇異ナル請ナ聽ケシカラ  
ブシオス、一班ヲ獄ヨリ出シ、巴理ニ在テ隨意ニ乞丐スルヲタ

バソノアブレイスノ形ナ刻メト命セラルコレニ因テ加洛リ  
ノ著セル雕像ノ書タ「セベッガース」乞丐ト名ケタリ路易セシ  
バ理ニ留ラバ毎年三千リブル即フランク銀錢ノ名チ與ベシトイハレシ  
ガ加洛コジナ受ズシテ、南西ニ歸リ、ソノ業ナ務テ、死ニ至リ  
加洛一生人間サン刀ナ以テ雕刻スルモノ、及ビ銅針ナ以テ銅  
板ニ鑄ルモノ一千六百ノ大數ニ至ル、ソノ勤勉ナルトコレ  
ロテ想像スベシ、

(十一) 尼格拉士保申ノ事

法國有名ノ畫家ニ格拉士保申ハ純朴ニシテ才思アリ、品行  
正直ナリシ人ナリ、其父ハ安葬禮ニ住スル童子師ナレバ、保  
申チ家ニ於テ教タリシガ、保申其課業ノ書或ハ石盤ニ、畫圖

チノミ写シテ、ソノ正課ヲ怠リケリ、其村コーンノ畫工アリ、一日保申ス、畫ヲ見テ、コレヲ喜ビ、ソノ好チ奪フ、ナカレト、父ニ勧ケレバ、コレヨリ保申コノ畫工ニ就テ學ビ、幾何セナク、ソノ業大々進ミ、其師モコレヲ教ル、能ハザルコ至リ、保申更コソノ技ヲ善セント欲シ、十八歳ノ時、巴理ニ赴ク途中コテ表號ノ繪ヲ畫キ、金錢ヲ得テ路資トナス、既ニシテ巴理ニ達シケレバ、保申藝術ノ新世界、己ノ前ニ開ケタルニ、且ハ驚キ、且ハ勸励シ、コレト勝チ争ント欲シ、處々ノ工舗ニ往キ、畫圖ヲ寫シ、或ハ彩色ヲ施シ、勤勉ノ功ヲ積タリ、或時羅馬ニ遊シト、著發程セシガ、福楞察ニ至ルノミニコテ歸ル、其後再び發程セシ時ハ、立翁士ヨリ不幸ニシテ巴理ニ歸サ、カクノ如ク、

沈埋、勞苦、敗績、失望ノ遭際、凡シ十二年ヲ歴テ、遂ニ羅馬コ至  
 フチ得タリ。○羅馬ニ於テ諸ノ老畫師ニ就テ學、就中古昔名  
 工ノ作ル像ヨリ、多ク益テ得タリ、嘗テ雕像工ダグニスノイト、居  
 ナ同様、古像ナ模作スル輔手トナリ、コレニヨリテ、畫格一變  
 ス、又解剖ナ學ビ、又人民百般ノ儀容姿態ナ熟察シ、コレナ描  
 寫シ、粉本ナ蓄ルコト務メ、又其暇ニハ、朋友ヨリ畫法ノ書ナ  
 借讀セリ。○コノ時、保申甚ダ貧、カリシカバ、ソノ畫ナ職ク賣  
 リ、先知者ノ一人ノ畫像ナ、八フランクニテ、ブレーブナフ・フィリスター  
 インスノ畫ナ、六十フランクコト賣リ(後コノブレークノ畫ナカル  
 ナナル法官利式流一千フランクコト買ヒトナリ)保申マ・タ劇  
 疾ニト冒レ、一友ヨリ厚ク賑給ナ受シカバ、後一ノ名畫ナ作り、

コレニ酬ムクニ、ソノ畫ノ價、病中受ルトコロノ金ヨリ倍蓰セル  
モノナリトゾ、○保申マタ福楞察及ビ未ニスニ遊ビ、ソノ畫  
學チ、廣メタレバ、ソフ畫マスニ妙絕チ、極メ、聲名四方ニ聞ニ、  
然ドモ保申ハ靜退ムダミ交際ムカシチ好ズ、時ニ野外ニ閑歩シテ  
作ルベキ畫ノ趣向チ思ヘリ、羅馬ノ地喧囂ナラザルト、ソノ  
性ニ適シタレバ、コニ於テ妻チ娶リ、終焉ノ志チ抱ケリ、既  
ニシテ、保申屢シテ法國ヨリ王ノ畫匠ノ長ニ爲スベシトテ招  
ル、始シテハコレチ辭セシガ、後ツヒコ巴理パリスニ歸リ、ソノ名畫ト稱  
セラレタル雜未耶ザイエノ像、バチスムノ圖、ラストサッパーノ圖ハコノ  
時ニ作り、巴理パリスノ畫匠保申ナ妬ミ、起テコレニ敵スルモノア  
リケルチ、厭シキコニ思ヒ、二年ニ滿ズシテ、羅馬ニ歸ル、其後

疾病ニ惱レシガ、畫學ノ益、巧妙ニ至シヲチ務メ、コレヲ以テ  
 痛苦ヲ忘レ、心思ヲ慰ケリ、保申自ラ余年愈老ルニ隨ヒ、極善  
 極妙ハ域ニ至ント欲スルハ念愈燃ルガ如クナルトチ覺ユ  
 ト云ケリ、保申子ナシ、其妻コレヨ先テ死ヌ、朋友マタ凋落シ  
 盡テ、子然一身トナリ、一千六百六十五年、寛文養老ノ資トシ  
 テ、存貯セル一千クラウンノ銀錢ヲ、ノ故郷ノ親家ニ遺シ與ヘ  
 許多ノ好畫ヲ、世上ニ存留シテ、ソノ天年ヲ沒タリ、

## (十二)

潤○弗拉吉士面ノ事

英國有名ノ雕像工潤○弗拉吉士面ハ、倫敦コヴエントガーデンニ  
 住スル白土ノ像ヲ賣モノ、子ナリ、小兒ノ時、瘦弱ニシテ、行  
 歩スル不能ズ、故ニ常ノ習トシテ、枕ニ倚リ、店面賬檻ノ後ニ

在リテ、圖ナ書カキ書チ、讀ケリ、牧師ノ法教官馬賓士ハ、仁心アル。人ナリシガ、一日コノ舗ニ來リ、小兒ノ書チ讀チ見テ、何ノ書アト、問ケレバ、「ヨルナリウス。」云々、シテ、ソノ父擺書舗ニ於テ、少許ノ邊士ノ銅錢ニテ得タルモノト答フ、馬賓士「コノ書ハ、汝ノ讀ニ宜シキ」ノニ非ズ、我他ノ書ナ持來ベシ」と云テ、明日英譯詞墨爾ノ詩及トンクイッキソートナ以テ與ケレバ、小兒大ニ喜ビ、熱心ニヨシシテ讀ミ、忽ナ古詩中ニアル英雄ノ像ヲ模造セント思ヒ起セリ。

始テ作ル諸ノノ圖ハ生粗ナリシガ、其父コレナ有名ノ雕像工路被畧ニ示シケルニ、シヨ一賤シムル時ト云フテ輕賤セラル、然ニ小者勉強忍耐ナリケレバ、次第ニ進ミ、白土ヲ以テ像

形ナ造ツサ始タリ、此時作シセノ、今日ニ至マテ、世ニ奇珍ト  
 セラル、コレソノ工善ナルニ由ニ非ズ、瘦弱ノ小童ニテ能コ  
 レチ作タレバナリ、カクノ如ク工藝ナ勉タル、其身體ハ補  
 益トナリ、漸ク杖ニ倚テ行歩スルトナ得後ニハ強健ニシテ  
 杖チ用ガルニ至リ、馬賓士其後弗氏<sup>フランキス</sup>サ家ニ招キ、其妻ナシテ  
 詞墨爾及彌爾敦<sup>ミルトン</sup>ノ詩ナ解説セシメ、又コレニ拉丁語<sup>ラテン</sup>希臘語<sup>ギリシア</sup>  
 ナ歎タリ、弗氏<sup>フランキス</sup>勉修ノ功ニ由テ、ソノ藝事大ニ進ケレバ、一夫  
 人ヨリ始テ詞墨爾ノ詩意ノ圖像ナ作シコトナ托セブル、凡ソ  
 始テ托セラルモノナ作フ、工藝ノ火ニ於テ、ソノ關係ノ大ナ  
 ル、何ハカリヅヤ、外科醫ノ始テ病人ナ托セラル、フ、狀師  
 ノ、始テ訟事ナ托セラル、フ、立法者ノ始テ公會ニ於テ論辯

スルヲ、唱歌者ノ始テ場ニ登フ、著書家ノ始テ書サ公ニスル  
ヲ、何モ聲名ニ關係スル、一生ノ大事ナリ、サレバ、コノ童子力  
ヲ極テコレヲ作リケレバ、大ニ賞譽セラレ、又厚酬報ヲ得タ  
リ、

弗拉吉士面十五歳ノ時ローヤル・アカデミイ  
トナル、弗氏天性謙退ナリシガ、諸生ノ中ニアリテ、嶄然トシ  
テ頭角ヲ露シ、老師皆ソノ大成ヲ期ス、十五歳ニシテ、銀ノ匾  
圓ヲ賞賜セラル、ソノ次年、金ノ匾圓ヲ得ベキモノハ、必ズ弗  
氏ナラント、衆人ニ言レシガ、中ラズシテ、他ノ生徒コレヲ得  
タリ、凡少年ハ功名ヲ躡ハ、却テソハ進益ト爲フナリ、何ニト  
ナレバ、堅志ノ人ハ、敗績ニ由テ、志氣ヲ失ズ、ソノ度ニトニ真

實ノ勢力ヲ引起<sup>ス</sup>トナリ、<sup>ノラフキス</sup><sub>シ</sub>ノ父ニ向ヒ「待玉ヘ、予必ズア  
 カドミイノ光榮トナルベキホドノ像ヲ作り出<sup>ス</sup>ト言<sup>リ</sup>、コ  
 レヨリ、一倍ノ工夫ヲ下シ、辛苦ヲ惜<sup>ズ</sup>思<sup>ヒ</sup>テ、屬シ稿ヲ作<sup>シ</sup>、着  
 實ニ勉強ノ功ヲ積メリ、然ニヨノ時、其父白土ノ像ヲ作ル工  
 業、一家ヲ養<sup>フ</sup>ニ足ザリケレハ、<sup>ノラフキス</sup><sub>シ</sub>ト我慢ノ心ナク、自私ス  
 ルノ意ナキ人ナル故、ソハ雕像ヲ學ブ、光陰ヲ減シテ、其父ハ  
 賤業ヲ助ケ、<sup>ナメル</sup>墨爾<sup>ナ</sup>拋<sup>テ</sup>、白土<sup>メシ</sup>持<sup>シ</sup>、產業ヲ營<sup>ミ</sup>ケリ、然  
 ヨコノ事、<sup>ノラフキス</sup><sub>シ</sub>ノ彫學ヲ爲ル妨<sup>ダ</sup>トハ、ナラズシテ却<sup>テ</sup>ソノ益  
 トナレリ。蓋<sup>フ</sup>コノ事<sup>ノラフキス</sup><sub>シ</sub>テ、勞苦ノ業ニ習ヒ、忍耐<sup>タ</sup>ノ精神  
 ナ長セシメ、又ソノ身體ヲシテ、堅實強壯ナラシメタリ、  
 弗拉吉士面ノ圖稿ニ巧ナルト空地烏德<sup>カエゾ</sup>コ聞<sup>ケ</sup>レバ、空氏コ

ノ少年ヲ用ヒテ、陶器ノ、圖形ノ粉本ヲ作シメンコトヲ望リ、ソレ  
弗氏フランキスダンノ如キ名工、カアル賤シキコト爲ハ惜ベシト云人モアルベ

ケレ。既決シテ然ズ、尋常ハ茶壺、水瓶等ハ圖稿コツ、巧妙ハ工  
人ハ作ルベキセハナレ。何ニトナレハ、人生毎日飲食ノ間、目  
ニ觸ル器物ハ萬民ノ敷トナルベキ。目的トジテ造ルチ要  
ス。蓋シ人常ニ工妙ノ蓄ヲ觀ルトキハ、眼目自ラ高クナルハ  
益アリ。是故ニ、畫工ノ志氣高モハハ富人ハ爲ニ數千金ハ蓄  
チ作シヨリハ、寧國人ノ公利トナラソガ爲ニ力チ惜ズシテ  
日用器皿ハ畫稿ヲ造リコレ他ナシ、千金ノ蓄ハ、高堂華廬シ、  
中ニ幽閉セラレ、衆人ノ觀覽ノ及ブヲ能ザルトコロナシ  
ナリ、空地烏德ウエーデノ時マデハ、陶器粗醜ニシテ、ソノ畫圖、マタ拙

惡ナリシ故、空氏ハニガラコレヲ精巧ニ爲ベキヲ求メ  
 ダリ、空氏徃古ノ希臘奚土拉斯干其他美好ノ陶器ヲ集メ、又  
 古詩古史ニ存スル様形ヲ查出シ、弗氏ナシテコレヲ師法ト  
 ナサシメケレバ、弗氏勉強シテヨレニ倣ヒ、又加ルニ新意ヲ  
 以シ、ソノ圖形ヲシテ、日ニ益々精善ナテシメタリ、後來弗氏  
 ヨノ時ノ事ナ言ヒ、「予少時陶器ヲ畫ガキシニ由テ、美巧ノ物  
 ナ愛スルノ心ヲ養フチ得タリ、マタ廣ク人民ナシテ、シハ眼  
 目ナ高シ、圖畫ハ趣味ヲ解スルトチ得セシメタリ、マタコレ  
 ニ由テ、我ガ橐空虚ニ至ラザルトチ得而シ又吾友空氏ナシ  
 テソノ目的ナ達セシメ、ソノ工業ヲシテ繁盛ナラシムルト  
 ナ得タリ」ト云リ、

弗拉吉士面二十七歳ニ及テ、婦ヲ娶ル、ソノ名ヲ安田曼トイ

フ、温和端正ニシテ、詩畫ノ趣ナ解セルモノニテ、深ク弗氏ノ才ヲ愛セリ、弗氏新婚ノ後、藝術學院ノ監督ナル禮諾爾圖ニ

路ニ逢リ、禮氏ハ有名ノ畫家ニテ婦ヲ娶ザル人ナリ、禮氏、弗

氏ニ謂テ曰「足下婦ヲ娶シト聞リ、果テ爾ラバ、足下ノ藝ハ、コレガ爲ニ敗レタリト言フ、弗氏速ニ家ニ歸リ、其妻ノ側ニ坐

シ、其手ヲ執テ「安我藝事ハ敗レタリ」と云バ、安即チ潤ソハ何事ノ起タルヤ、誰ガコレヲ敗リシヤ」ト怪ミ問フ、弗氏コレ

寺院ニ於テ起リ、安田曼吾藝事ヲ敗リタリトイヒテ、具ニ禮

ノト欲セバ、全體ノ心力ヲ出シ、藝事ヲ擔負スベシ、曉起ヨリ、ノル圖ノ持論ヲ語リ、且曰ク、學生、工藝ヲ修メ、絶妙ノ地ニ至、

夜眠ニ至マテ、一刻ハ間断ナカルベシ、且羅馬ニ遊ビ、拉輝列、  
 及ビ彌開爾。安日洛ノ名作チ學ザレバ、雕工ノ大人ト成ルコ  
 能ズ。ト語リ畢テ、自ラソハ短小ハ身チ聳起シテ、我雕工ハ大  
 人トナラソント欲ス。ト云バ、安答テ「君ハ實ニ雕工ノ大人トナ  
 リ玉フベシ、君ノ藝業チシテ大ナラシムルタメナラバ、羅馬  
 ニ遊び玉ヘ」トイフ、弗氏「然ラバ何ニシテ、コレチ爲シ得ンヤ」  
 ト云フ、安曰ク「藝業チ勉メ、儉約チ務テ、コノ願チ遂玉ヘ、安田  
 曼ガ、弗拉吉士面ノ藝事チ敗タリト、人ニ曰シソラハ、予ニ於  
 テ口惜キチナリ」。答フ、弗氏「シカラバ、我行資備辦セバ、羅馬  
 ニ向テ發程シ、禮諾爾圖チシテ、結親ノ事ハ、人ノ害トナラズ  
 シテ、却テ人ノ吉利トナルヲ知シムベシ、汝安我ト偕ニ遊

ベニト言へり、

コノ後五年ノ間、夫婦コノ目的ヲ達セシガ爲ニ、一錢ト雖モ、空ク費ス。ナク、マタ他人并ニアカデミイヨリ救助ヲ受ル。トナクシテ、旅資ヲ貯ヘ、遂ニ兩人ニテ、羅馬ニ赴キ、心力ヲ盡シテ、雕像ヲ學ビ、古像ニ倣ヒ、式様ヲ作テ過活ヲ爲リ、英國ノ人ソノ工舗ニ來リ、古像ノ式ヲ模スル。托スルモノ少カラズ、コノ時、詞墨爾以斯吉拉斯檀的ノ形像ヲ美麗ニ造シガ、僅ニ十五シルリングニテ、一箇賣レバ、又托馬士荷布ノ爲ニキ。エドナーロラノ像ヲ作り、伯律士的爾ノ公ノ爲ニ亞答瑪斯ノ像ヲ作り、

弗拉吉士面大名ヲ荷テ、倫敦ニ歸リケレバ、雕像ヲ托セラル

、ト益多シ、ソレガ中ニセ、勞爾德ローラード曼士非爾德マンス・フィルドノ記念碑ノ像、  
 ヴニストミンスツール寺院ノ北角ニ建ルモノ、尤モ名作ト稱ス、即チ  
 弗氏ノ工力ヲ顯ス記念碑ト云フセ可ナリ、ローヤルアカデミー藝術  
 院會社ノ人、弗氏ノ歸タマムチ聞キ、又マジスフイールドノ像ヲ觀テ、コ  
 レナシノ會社ノ籍ニ入シガ幾何ナシヨウセナクロトヤルアカデミーノ雕  
 像ノ學師ニ任ゼラレタリ、抑ヒテセ白土像ヲ造ル小兒偏ヒトハニ自己  
 ノ力ニ倚仗シ、無數ノ難事ニ勝得テ、遂ニカ、ル崇高ノ地位  
 ニ升ル、豈ニ尊ベキ事ナラズヤ、コノ後弗氏多年平穏ニ日  
 チ送、ケルガ、ソノ婦安死シテヨリ、大ニ身體ノ和チ傷リ、一千  
 八百二十六年文政沒セリ、

(十三) 維爾啓談話ナ好サル事

蘇國

有名ノ畫工

大開維爾啓

ハ、忠厚ニシテ藝術ヲ勉ル人ナ  
リ、其父ハ牧師ノ法教官ナリシガ、維爾啓童子ノ時ヨリ、偏ニ畫チ  
好ミ、面目形狀ヲ描寫シヨレナ以テ樂トナシテ、其他ノ學問  
ヲ勉ザリケリ、ソノ人トナリ、靜默ニシテ談話ヲ好ズ、故ニ神  
明外ニ馳ズシテ、才思内ニ醸セリ、ソノ心時トシテ、處トシ  
テ、畫圖ニラザルコナシ、常ニ機會ヲ求テ、コレヲ作り、故ニ  
家中ノ墙壁及水邊ノ平沙、山畔ノ石、皆ジハ紙布ナリ、眼前  
手ニ當ル物、皆ソノ畫筆ナリ、凡ソノ遇トヨロノモノ、福祿ナ  
ル乞丐ト雖モ、盡ソハ畫料ナリ、他人ノ家ニ至トキハ、必ソノ  
壁間ニ圖形ヲ残ス、故ニコノ童子ノ過トヨロノ痕跡ナリ、  
テ、頗ル人ニ嫌ル、其父始ハソノ職ヲ繼シメント欲セシガ、ソ

パ益ナキヲ知リ、遂ニ畫工トナラシムルヲチ許セリ、  
 既ニシテ維爾啓ハ壹丁不ノアカデミイ大學藝術ノ弟子ノ員ニ  
 補セテ、レント欲シ、ソク畫ガケル圖ナ出シケルガ、ソノ生疎  
 ナルヲ以テ、選ニ預ルヲ得ズ、コレニ由テ久ニ耐テ善畫ヲ  
 作り、遂ニアカデミイニ入コテ得タリ、維爾啓他ノ少年ノ驕傲  
 ニシテ才ヲ恃ガ如ハ、癖習アラズ、心ヲ專ニシテ、藝術ヲ勉修  
 セリ、ソノ常ノ言ニ「予ノ畫ニ於テ、進境ヲ得タルハ、他ナシ、勉  
 強シテ已サルニ由ノミ」ト云リ、ソノ聲名漸ク顯ル、ニ隨ヒ、  
 畫ヲ乞モノ、日ニ多カリシガ、舊ニ仍テ貧困ナリ、其故ハ酬金  
 ノ薄モノト雖、年々率ニ筆ヲ下シ、必ズ幾回トナク、圖稿  
 ナ改メ、苦心ヲ悉シ、時日ヲ費シテ、然後ニ手ヲ脱セリ、禮諾爾

圖ト同シク、ソノ表識ノ語ニ、ウナルク、ウナルク、ウナルク〔勞作、々々、々々〕  
 ヤ〕一云、一語ナ用タリ、又禮氏ト同シク世ノ談話モ好ム、畫工  
 ドナルマシト思リ、故ニソノ言ニ、談說スルモノ種ナ播キ、靜  
 默ナルモノ莫實ナ收ムト云ケリ、○維爾啓始テ勞爾德曼士  
 非爾德ヨリ畫チ托セラレ、三十金<sup>ガウンド</sup>チ得タレバ、コレチ以テ、婦  
 人ノ冠帽衣裳チ買テ、ソノ母トソノ姉トニ獻ゼリ、蓋シ維爾  
 啓早年ヨリ貧窮ニ長シテ、ソノ身ハ嚴ク儉約チ行ドモ、マタ  
 ガクソ如タジノ所生ト、同胞トノ爲ニ、金ナ散シテ慄ル色ナ  
 キハ、眞ニ稱贊スベキナリ、

(十四) 畫工馬爾珍大畫チ作ル時屢餓死ニ迫事

困窮ハ工藝ヲ學ブ人ハ勇剛忍耐チ試ルセハカリ、古ヨリ極

第極困ニ逢ト雖ニ、コレガ爲ニ、退縮セズシテ、ソノ藝術ヲ成  
 就スルモノ、多コレアリ、然ニ因窮ノ爲ニ、艱難ヲ忍ト能ズシ  
 テ、敗績沈沒スルモノ、其數亦多カルベシ、畫工馬爾珍ノ遭際  
 メ如ハ、十分ノ勇剛、十分ノ忍耐ニアラサレバ、恐ハ消沮シテ  
 廢退スペキナリ、馬爾珍始テソノ大畫圖ヲ作ケル時、餓死ニ  
 迫ト。屢々ナリキ、或時數日食ズシテ、飢ニ迫ケレバ、囊中僅ニ  
 一銀錢アリシテ以テ、麵包ヲ買去ソーセシカバ、店主人忽チ  
 批留テ、其麵包ヲ奪ヒ、錢ヲ擲還ス、抑モコノ銀錢ハ、ソノ光燐  
 然タルカ故ニ、殘シ置タリシモノニテ、ソノ惡錢ナリトハ、毫  
 も知ザリシナリ、悵然トシテ、寓舍ニ歸リ、櫈ヲ傾ケ、辛シテソ  
 ブ麵屑ヲ集メ、僅ニソノ喉吻ヲ潔セリ、然ニソノ後數日ヲ過ギ

テ、ソノ畫圖成就シケレバ、コノ時ヨリシテ、聲名ヲ發シタリ、  
 (八十五) 蒼迷斯。沙不爾士鑄鐵工ニテ畫工、雕工ニ兼ル事  
 沙不爾士ハ、一千八百二十五年文政約克舍ニ生ル、鑄鐵匠ノ  
 子ナリ、後ニ拔禮ニ移リ、同胞十三人アリテ、一モ鄉塾ノ教主  
 受ルモノナシ、少ク長ズルニ及テ、皆工事ナ爲リ、沙氏十歳ノ  
 時ヨリ父ナ助テ勞作スル、屢常ニ曉六時ヨリ夜八時ニ至レ  
 リ、後ニ大釜ナ鑄ル工匠ノ徒弟一ナリ、ソノ家ニ往テ服役ス  
 ル時、工場ノ頭人、自ラソノ作ル釜ノ圖ナ持シ、沙氏ナシテ、作  
 場ノ地板ニ要用ノ廣ニ、圖ナ引シメシガ、漸々ニコノ事ニ習  
 ヒ、頭人ノ爲ニ大ナル助トナル、家ニ歸リテ暇アル時ハ、地板  
 ニ白灰ナ以テ、釜ノ圖ナ畫ガケリ、一日、ソノ母一親家ノ婦、遠

方ヨリ來訪スルモノヲ歎接セントテ、客堂ヲ整頓シ置タリ。  
 シガ、沙不爾士晚夕ニ鑄鐵場ヨリ歸リ、例ノ如クニ圖ヲ造ル  
 フサ始タリ、カクトモ知ズシテ、ソノ母ソノ客ヲ延來リ、白灰  
 地板ニ狼藉タルヲ見テ、大ニ驚駭ス、然ニシノ親家、婦、却テ  
 コレヲ賞賛シ、沙氏ノ爲ニ紙筆ヲ與ヘ給ヘト、ソノ母ニ勧メ  
 タリ、

沙不爾士コレヨリ山水遠景ヲ畫ガクコナ學ビ始シガ、未ダ  
 分間ヲ測ル法ヲ知ズ、又光ト影一ノ理ヲ知ズト雖ニ、次第ニ  
 畫本ヲ寫スコニ慣熟セリ、十六歳ノ時、拔禮ノ工學院ニ往キ、  
 屢々他人ノ圖ヲ作ルヲ觀テ、進益ノ助トナス、剃頭工ニテ畫  
 ナ好ム人、沙氏ノ師トナリテコレヲ教フ、コノ師沙氏ニ勸メ

培納的書學書ナ借讀セシム、然ニ沙氏未ダコレナ容易ニ  
讀コ能ハザリシ故、ソソ母及ビ兄ニ請ヒ、コレナ讀シメテ聽  
ケリ、沙氏自ラ讀ムアタハザルチ痛ミ、暫時ノ間、家ニ於テ、專心  
ニ書ナ讀ミ、字ナ作ルコナ習ヒ、ソノ後再ビ工學院ニ往キ、培  
納的ナ借來リシニ、コノ回ハ、獨リ讀得ルノミナラズ、コレナ  
抄寫シテ、後日ノ用ニ供スルコナ得タリ、サレバ曉四時ヨリ  
起テ、培納的ニ從事シ、六時ヨリ、鑄鐵場ニ往キ、晚六時或ハ八  
時マデ勞作シ、歸レバ復精神ナ振起シ、且讀ミ且抄ス、或ハ名  
工ノ畫ナ寫シ、中夜ニ至ル、レチナル10ダゾインシ以太利有ノラ  
ストサツバー畫ノナ寫セシ時ノ如キハ、終夜チ過ス、蓋シ沙氏床  
ニ上レドモ、コノ畫胸中ニ往來シテ眠フ能ハズ、故ニマタ其

テ筆ヲ把レリ、

沙不爾士ソノ後、油畫ヲ作ルヲ學バント欲シテ、カンバスニ畫

用ユル布ヲ買ヒ、畫架ニ張リ、白鉛ヲ塗リテ、始テ色料ヲ加ヘシニ、  
粗ク、彩色乾カズシテ、全ク敗レタリ、因テコレヲ嘗テ師ト  
シタル剃頭工ニ問ケレバ、油畫ニ用ルカンバス畫布及ビ彩色漆  
ハ、別ニソレガ爲ニ、備タルモノヲ買フベシト云リ、沙氏以上  
ノ諸品ヲ辛シテ買得テ、畫師ヨリ、又コレヲ用テ畫ガクノ方  
法ヲ教ラレ、勉勵シテ已サリケレバ、幾何モナク、剃頭工ノ寫  
セル畫ニ愈ルニ至ル、ソノ始テ作ル畫ハ、羊毛ヲ剪ル圖ナリ  
シガ、ソノ後、半クラウンノ價ニテ賣タリ、沙氏鑄鐵場ニ於テ、工  
事ヲ畢テ後、毎ニ屢々晩暮ヨリ、満遮士打マデ往返十八里ハ

路、ナ行、キ、ウツカ、二、三時、令バ、カリハ、カノンバフ及ビ、色料、ナ買ヒ、  
家ニ歸レバ、中夜ニ及ベリ、時トシテハ、雨ニ濡ヒ、大ニ困憊ス、  
然レモ、名工トナラント欲スル志、ヨウケン深カリケレバ、カクノ如  
キ勞苦、ナ事トセゼシテ、一意ニ藝業ナ修タリ、コレニ繼テ、  
功力ナ用シ、ヲハ沙氏、フレスノ余ニ寄タル書中ニ詳ナレバ、次ニ之  
ナ錄出セリ、予此次ニ、月夜ノ遠景、及菓實ノ畫等ナ作シガ、ソ  
ノ後、鑄鐵場ノ圖ナ作ント思ヒ起セシカバ、紙上ニ畫稿ナ造  
リテ、コレナカンバス、布ニ畫ガクト、始タリ、ソノ大段ナ畫ガ  
キシ後、予思ニ解剖ノ學ナ知ザレバ、人ノ筋骨ナ描寫スルト  
能ハズト、因テコレナ學バント欲セシニ、幸ニ吾同胞、ガラカラヒーク  
予が爲ニ、アナトミカル、スタチース人體ノ學書ナ買ヒ、タ

リ、コノ時、予ガ力ニテコノ書ヲ買フ能ハズ、蓋シ二十四時令  
 ノ價ナサ、予コノ書ヲ視ルト、寶庫ノ如ク、勉強シテコレヲ學  
 ピ、曉三時ニ起キテ、コレヲ模寫シ、時トシテハ、急ニ<sup>同胞</sup><sub>ハラカラ</sub>ビータ  
 チ喚ビ起シ、吾爲ニ立<sup>ダ</sup>シメテ、コレヲ模形トナセリ、ソノ後、予レ  
 マタ思フニハ、予ペルスペクチード分間<sup>チ</sup>測リテ、遠景及ビ宮室  
 リ、ノ術ヲ知ザレバ、鑄鐵場ノ分間<sup>チ</sup>切<sup>ヌカ</sup>ニ書ガクフ能ハズト、  
 因テブルーク・タイロル人ノ「プリンシブル」書ヲ細心ニ學習シ、然後  
 ニ前功ヲ繼ギ、再ビコノ圖ニ從事セリ、予ペルスペクチード注上  
 ユニ學<sup>ヅ</sup>時ニ當リ、畫間鑄鐵場ニ於テ、最モ重キ鐵ノ工事ヲ  
 求メテ、コレヲ操作セリ、コレ予ニ於テ別ニ道理アリ、最重キ鐵  
 ナ<sup>アリス</sup>熱スルハ、最モ久キ時間ヲ要シ、最モ輕キ鐵ハ、最モ短キ

時限、身要ス、サレバ一日之間、重鐵ナ操作スレバ、熱度ニ至ル。チ等候スル時限多シ生スルナリ、コノ時限ヲ謹ミ用ヒテ、火爐前ノ鐵板上ニ、ペルスペクチーヴノ分間圖ナ畫シ、キシテ學セケリ。

上ニ云ル如ク、苦志勉力シテ、畫圖ノ根理ナ學ビタレバ、ソラ後功夫ナ用ルト大ニ易キトナ覺タリ、既ニシテ工場徒弟ソ限期盡タル後、ソノ父ク像ナ畫ガキ、鄉里ニ譽ナ得、鑄鐵場ノ圖モ、成就シタリ、マタ工場ノ頭人ヨリ、ソノ全家團聚ノ圖ナ託セラル、圖成リテ善リケレバ、始メ約セシ價十八封度ノ外ニ、三十時令<sup>シヨリソク</sup>ナ増<sup>ムカヒ</sup>テ酬<sup>ムカヒ</sup>ラル、コノ後専ラ圖畫者以テ業ト做ント欲セシガ、コレシミニテハ、ナホ閑隙アリシカバ、マダ革<sup>カハマ</sup>裙<sup>カス</sup>。

チ。垂。テ。打。鐵。匠。ノ。事。チ。爲。シ。正。經。ノ。利。モ。フ。暇。チ。用。ヒ。テ。自。ラ。鑄。鐵。場。ノ。圖。チ。鋼。板。ニ。雕。刻。シ。コ。レ。チ。世。ニ。公。ニ。セ。リ。沙。氏。自。ラ。ソ。ノ。雕。刻。チ。始。メ。シ。ヨ。リ。成。就。ニ。至。ル。マ。デ。ノ。事。チ。述。ブ。ル。モ。ノ。ア。リ。次。ニ。錄。出。ス。

予。嘗。テ。偶。ミ。シ。エ。ツ。フ。イ。ル。ド。ノ。鋼。板。匠。ノ。告。示。チ。見。タル。ニ。大。小。各。版。ノ。價。チ。載。セ。タ。リ。ソ。ノ。中。ヨ。リ。吾。ガ。用。ヒ。ツ。ダ。ト。欲。ス。ル。モ。ノ。チ。定。メ。ソ。ノ。價。チ。送。リ。又。若。干。ノ。金。チ。附。送。シ。コ。レ。チ。以。テ。雕。刻。ノ。器。具。チ。買。ソ。ト。チ。望。ミ。ケ。リ。既。ニ。シ。テ。ソ。ノ。鋼。板。并。ニ。三。四。箇。ノ。小。刀。鋼。針。至。リ。ケ。レ。バ。予。因。リ。テ。畫。チ。刻。ス。ル。コ。チ。始。ム。然。ニ。コ。レ。チ。爲。甚。ダ。難。ク。且。遲。カ。リ。シ。ガ。後。ニ。コ。レ。ハ。全。ク。器。具。ノ。備。ラ。サ。ル。故。ニ。由。チ。經。驗。シ。テ。知。リ。因。テ。吾。意。ニ。中。ル。器。具。チ。造。ル。コ。チ。試。

ミシガ、屢々失敗シタル後、器具ノ良モノヲ製シ出セリ、予素ヨリコノ事ヲ暇餘ニ爲フナレバ、繪畫ノ事忙ハシキ時ハ、久シキ間コレヲ廢セザルヲチ得ズ、因テ銹ノ生ゼンヲチ恐レ、コレヲ防ガソガ爲ニ、雕タルトコロニ、常ニ油ヲ塗タリ、或時久廢ノ後、出シテ見ルニ、油粘塞<sup>チシノク</sup>シタレバ、針ヲ以テ、試ミニコレヲ除クニ、新ニ雕刻スル如キ工夫ヲ費セリ、コニ於テ悶然トシテ、意ヲ失シガ、後ニ及ズ、ソーダヲ入タル氷ヲ煮テ、コレソノ中ニ入レ、齒刷<sup>チミカクハケ</sup>ヲ以テコレヲ揩摩スレバ、油垢除去<sup>キ</sup>ベシト、幸ニ想中リテ、コノ難事ヲ脱シ過タリ、蓋シ予鋼版ニ畫ヲ雕ル所ハ、始ヨリ終ニ至マデ、他人ヨリ學バズ、他人ノ助チ假<sup>ラ</sup>ズ、全ク吾ガ自己ノ堅志勉力ニ頼テ成就スルヲチ得タレ

バ、コレ實ニ予ノ功勳ト云々シ、

沙氏自ラ家中ノ情景ヲ述タル語アリ、曰ク、余婦ヲ娶リシ以來、已ニ七年ヲ經タリ、毎日鑄鐵場ニ在テ、勞作ノ事ヲ竟テ後、畫筆ヲ執リ、或ハ鋼刀ヲ持シ、往々深更ニ至ルニ、吾妻ハ吾側ニ坐シテ、予ガ爲ニ有用ノ書ヲ讀ム、予コレヲ聞ナガテニ、工藝ノ事ヲ爲フ、豈ニ快樂ノ最モ大ナルセノナラズヤト、カクノ如キ誠朴ニシテ、シカセ美麗ナル實話ハ、尋常ノ人モ、コレヲ聞テ感ズベク、工人ノ才智アリ實心アル人、コレヲ聞バ、最モ肺腑ニ沁スベキナリ、

(十六) 有名ノ樂師、彊勉ニシテ倦ザル事

畫工、雕像工ノ絶妙ノ地位ニ達スルモノハ、上ニ顯ハセル數

人ノ如ク、専ニニ勉強學習スルニ、因ハル事ナリ、コニ音樂  
ノニ藝アリ、畫及ビ雕像ト、技藝ノ兄弟タリ、蓋シ彼ハ形色ノ  
詩ニシテ此ハ聲音ノ詩ナリ、コレナ學デ、絕妙ニ臻ル、亦專心  
勉力ナ要ス、日耳曼ノ樂師罕姪爾ハ、強忍ニシテ倦ズ、失敗ニ  
遇テモ沮喪セズ、患難ノ至ルゴトニ益々勢力チ長ズル人ナ  
リ、嘗テ債ヲ負ヒ、償フノ能ハズシテ、家中ノ物ヲ搶奪セラレ  
シガ、罕姪爾コノ時樂曲ヲ作ルコナ、暫モ廢セズ、一年ノ中ニ  
幼妙ナル樂曲數種ヲ著ハセリ、ソノ傳ヲ作ルモノ、言ニ罕  
姪爾ハ、何事ニテモ敢テ爲トコロノ氣象アリ、一己ノ力ナ以  
テ、十二人ノ事業ヲ成就シタリト云リ、罕姪爾一千七百五  
十九年(實曆九年)倫敦ニアル在テ、沒ス一千八百五十九年(安政六年)罕氏沒後百年ニアル以テ、歐羅巴亞墨利加諸國澳士太拉利ニアタ

テ罕氏ノ追憶トシテ日耳曼ノ樂工海同自ラソノ技藝ノ事  
 節宴ヲ設ケ行ヒケリ日耳曼ノ樂工海同自ラソノ技藝ノ事  
 ナ語テ、一事ナ始テ、追逐繼續スルニ由テ成就ストイヘリ、○  
 日耳曼ノ樂師莫備托反ノ格言ニ、才能及ビ勉強ナ貪リ求ル  
 ノニ、「コレヨリ遠クニ至フナ許サズ」ト志セル界石ハ立テア  
 ラズトイヘリ、セスケレス樂曲ノ草稿ナ備托反ニ送リ、ソノ是  
 正チ請ケルガ、備氏抄本ノ尾ニ「上帝ノ助チ以テ功ナ完セリ  
 ト、書シテアリシチ見テ、マタソノ下ニ「嗚呼人汝自ラ助ヨ」ト  
 書セシトナリ、コノ一句ハ、備氏平生用ルトコロノセツト表識  
 ナリ、潤設巴士丁。拔克日國自ラ自己ナ評シテ、「予ハ勤勉ナリ、  
 誰ニテモ勤勉ナルモノハ、予ガ如キノ成功アルベシ」トイヘ  
 リ、  
 拔克樂チ好ヒ嗜慾ノ如シ、コレ實ニソノ勤勉ナル所以ノ

源ニシテ、ソノ成就スル所以ノ祕事ト言<sup>フ</sup>、幼年ノ時、夜ニ  
當リ、蠟燭チ點ズルヲチ許サレザリシ故、月光ニ映シテ音樂。  
ノ書ナ寫セシトナリ、ミエルベイルハ毎日十五時ノ間、樂チ學ビ。  
シ一云傳フ、

